

# 令和3年度 緊急時初期対応マニュアル

長野県松川高等学校

## 緊急事態の発生

事態：生徒事故・職員事故・施設火災損壊・自然災害  
 時間：管理中・管理外  
 場所：学校・通学通勤・自宅等

## 基本的な姿勢や態度

- 素早い誠意ある対応
- 保護者への連絡  
 事実を正確に、予断や推測を交えない
- 負傷等の場合  
 保護者に引き渡すまで付き添い看護する

## 緊急対応

- 1 状況把握 2 安全確保 3 複数体制・応援依頼

## 緊急連絡先

飯田広域消防本部	
救急車・火災	23-0119
警察署	
飯田警察署	22-0110
松川町交番	36-2051
駒ヶ根署	0265-83-0110

保護者
校長・教頭
学年主任
正副担任
教務主任
生徒指導主事
養護教諭
クラブ顧問
事務長・補佐

県教委  
 P T A  
 同窓会  
 学校医  
 関係機関

- 生徒の安全と利益を優先する
- 総合的な立場から判断する
- 必要に応じて、統一見解のメモを作成し、情報開示の一元化を図る
- 対応した内容・時刻等を記録する

## 初期対応

緊急係会・学年会・職員会議（基本姿勢・担当者の確認）  
 関係生徒及び保護者への対応  
 一般生徒への対応（学級・クラブ・学年・全校・地区）  
 関係機関への対応＝教頭・係  
 報道機関への対応＝校長・教頭  
 事故及び問題行動等発生状況調査と原因究明  
 時間を追いついて対応経過の記録をとる（各自）

## 緊急連絡網

- 校長・教頭・事務長  
 → 教科主任 → 職員
- 校長・教頭・事務長  
 → 学年主任 → 正副担任  
 → 生徒
- ◎ 校長・教頭・事務長  
 → 教務主任 → 連絡網

## 長期対応

係会・学年会・職員会議（事後処理・再発防止）  
 事後処理：P T A・地域・関係機関への説明  
 保証・保険・学校健康センター  
 総括・問題点の整理  
 報告（事故報告書・問題行動報告書等）  
 責任問題への対応  
 再発防止：原因追求（検証委員会・職員会議）  
 制度・体制の改革  
 指導のあり方の研究協議  
 学級・クラブ・学年・全校生徒への対応  
 P T A・地域・関係機関への協力依頼 等

## 主な連絡先

・校長	000-0000-0000
	(自宅 0000-00-0000)
・教頭	000-0000-0000
	(自宅 0000-00-0000)
・事務長	000-0000-0000
	(自宅 0000-00-0000)
・1 学年主任	000-0000-0000
・2 学年主任	000-0000-0000
・3 学年主任	000-0000-0000
・教務主任	000-0000-0000
・生徒指導主事	000-0000-0000
・赤十字病院	0265-36-2255
・セコム	0265-23-8351

長野県松川高等学校	37-2011	F A X	37-3173
保健室	37-3293	教務室	37-3294
国語準備室	37-3296	体育準備室	37-3297

英語準備室	37-3295
進路指導室	37-1023

# 1.事故(外傷・熱中症など)

## (1)事故の予防

- ・4月の始めに各学年から指導上注意を要する生徒の状況を資料にて連絡する。学年会
- ・定期行事前健康診断を実施する。養護教諭
- ・クラスマッチ・文化祭・強歩大会など全校行事には朝会を行って、天候による事故の心配(猛暑・強風など)があれば協議をする。教務係
- ・宿泊を要する引率先では、生徒の体調を情報交換する場(夜の反省会、朝の打合せ会など)を設ける。引率者
- ・行事当日の朝のSHRでの出席状況のとりまとめを行う。学級担任→教務室

## (2)訓練

- ・新任職員ガイダンスや職員研修など、担架とAED(自動体外式除細動器)の保管場所を確認する場を設ける。教務係
- ・職員は必ず3年に1度は心肺蘇生法などの研修を受ける。学校保健・衛生委員
- ・熱中症や運動時の外傷に対する研修の機会を設ける。学校保健・衛生委員会

**担架**：保健室廊下の壁の中、第2会議室廊下、第1体育館入口横  
**AED**：保健室廊下、体育準備室

## (3)対応

ステップ 1	<b>事故の発生(発見・通報)</b>	複数の職員が確認に行く。
ステップ 2	<b>救急車を要請すべきかの判断をする。</b> 以下は、救急車を要請する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心停止、呼吸停止</li> <li>・意識障害</li> <li>・呼吸困難で胸が締め付けられる痛みをががある</li> <li>・頭を強く打ち、吐き気や嘔吐がある</li> <li>・今までに経験したことがないような強い頭痛</li> <li>・けいれんを起こしている</li> <li>・腹痛のためにじっとしてられない</li> <li>・熱中症で、1人で歩けない状態</li> <li>・大出血</li> <li>・広範囲の火傷や熱気を吸い込んだ</li> <li>・骨折の疑いがある</li> </ul>	肩をたたいて反応を見る。  左記の症状は迷わず「119」症状を連絡すれば緊急かどうかは消防署が判断してくれる。適切な指示も出してくれる。  「意識障害」「呼吸停止」の場合は、AEDの手配をする。 ショックを与えるかどうかは機械が判断する。迷うより使え。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心肺蘇生法</span> 胸骨圧迫 30回→人工呼吸 2回
ステップ 3	<b>救急車が来るまでに</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 救急車の誘導係をきめる</li> <li>② 管理職・養護教諭への連絡 (事件性があるときは管理職が警察に連絡)</li> <li>③ 傷病者の手当、状態の観察 (右欄に注意点あり)</li> <li>④ 傷病者の個人カードのコピー作成</li> <li>⑤ 学内の連絡、情報収集体制の作成</li> <li>⑥ 毛布や氷などの手配</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頸椎の外傷が疑われるときは、動かさずに声かけだけで、救急車を待つ。</li> <li>・意識障害があるときは、強く揺すらない。肩をたたいて反応を見る。</li> <li>・嘔吐があるときは身体を横向きに寝かせる。</li> <li>・衣服をゆるめる。</li> </ul>
ステップ 4	<b>救急車到着から移送まで</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 傷病者の状態と行った手当の内容を告げる</li> <li>② 担任(養護教諭)は持病などその他の情報を報告する</li> <li>③ 救急車には傷病者についてよく知っているものが同乗する</li> <li>④ 学校との連絡や保護者に対応する職員が、自家用車で搬送先に向かう</li> </ol>	

- ・運動時に胸が痛い。体を動かすと胸が痛い。→循環器・呼吸器疾患の疑いあり。病院へ連れて行く。
- ・吐き気や下痢が伴う場合も、病院へ連れて行く。

## 2.施設火災損壊

### (1)火災への備え

- ・4月に防災計画を作成する。防災美化係
- ・定期的に施設・設備の点検を行う。事務・防災美化係

### (2)訓練

- ・避難訓練の実施。防災美化係

### (3)対応

ステップ 1	事故の発生(発見・通報)	複数の職員が火元の確認
ステップ 2	① 消防車を要請すべきかの判断をする。 ② 初期消火と事務室への連絡	「119」 無理せず避難
ステップ 3	① 避難誘導 ・火元がどこにあるか知らせる ・窓を閉める ・落ち着かせる ・避難開始 ② 消防車の誘導(避難経路と重なる場所などの交通整理のため複数の係が必要、学級担任以外) ③ 避難開始本部設営 各クラス点呼確認(グラウンド)→本部報告	放送機器の順位 全校放送→緊急放送→拡声器  確認できなかった生徒の確認 (携帯電話・最後に見た場所と時間) 校内に残されているようなら、 確認できた情報を消防隊員に知らせる。助けに戻らない。

## 3.自然災害(地震・台風・大雪など)

### (1) 訓練

- ・防災訓練の実施。防災美化係
- ・「松川高校連絡メール(オクレンジャー)」の動作テストを必要に応じて行う。教務係

### (2) 台風や大雪など予測可能な場合は、前日に予防策を協議するための臨時職員会を開く。教務係

ステップ 1	臨時職員会議	
ステップ 2	① 「松川高校連絡メール」による連絡 <span style="border: 1px solid black;">教務係</span>	② 「松川高校連絡メール」が届かない生徒(家庭)への連絡 <span style="border: 1px solid black;">学級担任</span>

### (3) 地震など予測困難な場合は、防災計画に沿って行動する。

ステップ 1	避難開始	
ステップ 2	名簿の作成(名前・居場所・体調)	生徒の保護者引き取りが完了したら二重線で消す。
ステップ 3	① メールが使えるようになったら、「松川高校連絡メール」による連絡 <span style="border: 1px solid black;">教務係</span> ② 必要があれば、救援活動のボランティアを募る ・自衛消防団(消火器の収集や初期消火など)の設営 ・傷病者の介護(食事や移動の補助など) ・上片桐保育園・松川北小学校への応援(幼児・児童の世話、絵本や筆記用具の収集など) ・救援物資の運搬	

### (4) 職員の帰宅について(余震の間隔が開くなど、安全が確保されればはじめる)

- ① 優先順位 幼児・児童の引き取り者と家族に要介護者がいる者→中高生の引き取り者→その他
- ② 帰宅順位が早い学級担任は、代替りの職員に引継を必ず行ってから帰宅する。
- ③ 一旦帰宅した職員でも戻れる状況にあれば、帰校する。

# 令和3年度 緊急対応電話番号

長野県松川高等学校

※市外局番は0265

学校医	内科	小沢医院	35-2016	豊丘村神稲	小沢眞嗣
	眼科	高森眼科医院	35-8282	高森町吉田	飯島隆彦
	耳鼻科	かみさと耳鼻咽喉科医院	52-3933	飯田市上郷飯沼	中島淳治
	歯科	下平歯科	37-2006	松川町上片桐	下平克彦
学校薬剤師	飯田病院	22-5150	飯田市大通	岡田 梢	

緊急	救急車	119	消防署（飯田市東栄町・高森町）
	緊急医案内サービス	0120-890-422	飯田消防署本部（飯田市東栄町）
	飯田市休日夜間急患診療	23-3636	飯田市東中央通り（医師会）

※緊急以外は、本人・家庭の主治医、または希望する病院を最優先にする。

下記は近隣の医療機関の一部です。

下伊那赤十字病院	36-2255	松川町元大島
下伊那厚生病院	35-7511	高森町吉田
飯田市立病院	21-1255	飯田市八幡町
昭和伊南総合病院	0265-82-2121	駒ヶ根市赤穂
飯田病院	22-5150	飯田市大通
健和会病院	23-3115	飯田市鼎中平
瀬口脳神経外科病院	24-6655	飯田市上郷
中塚内科循環器科医院	34-1188	松川町元大島
竹村整形外科	35-2141	高森町吉田
フルタ眼科医院	53-7123	飯田市上郷
高森眼科医院	35-8282	高森町吉田
尾地内科呼吸器科クリニック	35-6311	高森町山吹

丸茂タクシー	36-3333	松川タクシー	37-2131
飯田保健所	23-1111	飯田医師会	22-1800
中部公衆医学研究所	24-1777	保健厚生課	026-235-7444
長野県公衆衛生協会	026-226-8465	県健康づくり事業団	026-286-6400
伊那健康センター	0265-78-9700		

飯田高校	22-4500	下伊那農業高校	22-5550
飯田風越高校	22-1515	阿智高校	43-2242
飯田OIDE長姫高校	22-7117	阿南高校	0260-22-2052
飯田女子高校	22-1386		